社是〝三方善の精神〟で事業発展

鈴木建吾氏が旭日双光章受章

ねじ業界の地位向上にも貢献

㈱八幡ねじ（本社＝愛知県北名古屋市山之腰天神東18。鈴木則之社長）の鈴木建吾代表取締役会長は、5月21日に発令された令和元年春の叙勲において旭日双光章（経済産業政策局地域経済産業グループ）を受章。伝達式は27日午後、グランドプリンスホテル新高輪「飛天」で行なわれ、翌日には天皇陛下に拝謁した。

鈴木建吾氏は昭和22年（1947年）1月17日生まれ。性向は誠実で責任感・正義感が強く、社内外における人望は極めて厚い。優れた先見性及び幅広い視野と共に、業界内にあっては常に他企業に先んじて新たな業務展開を図り、社是である“三方善の精神”に基づいた企業姿勢から揺るぎない地位を確立させた。

昭和44年（1969年）3月、横浜国立大学経済学部経営学科を卒業し㈱富士通入社。その後、46年（1971年）4月に㈱八幡ねじに入社し、専務取締役として更なる事業の発展を通じた業界及び地域社会への貢献などに積極的な取り組みをおこない、企業経営全般に関して卓越した手腕を発揮させ、62年（1987年）7月に代表取締役社長、平成30年には代表取締役会長に就任し現在に至る。

同氏は、1987年の同社社長就任以降、IT企業での勤務経験を生かして、人とITとメカトロニクスによる三位一体の改善を全体的に推進。「ITシステムは内製化が基本」、「部分最適から全体最適への実現」の方針のもと、受発注、生産、在庫、出荷などの業務プロセス間の連携を見据えた全社統合生産システム（ヤハタフローシステム）を構築し、2007年から運用を開始。ホームセンター向けのねじ分野の取引では、EDI（Electronic Data Interchange、企業間における受発注などの電子取引）の導入をおこない、98％と極めて高いEDI比率を実現させた。

注文が集中する月・火曜日には1日10万件規模、年間では1千万件規模の注文に対して、10万点以上の取扱商品を間違いなく翌日配達可能にしたことや、バーコードを利用した自動倉庫管理や電子はかりの活用で、ねじ1本の注文から即納可能にしたことなどが顧客満足度を高めている。その結果、ホームセンター向けのねじの分野で事業を拡大させ、同分野では日本一の販売シェアを獲得するに至っている。

それらの取り組みは、先端的にIT利用を実践して成果に結びつけている模範的事例として、2008年には「中小企業IT経営力大賞2008」経済産業大臣賞を受賞、2012年には「愛知ブランド企業」に認定されるなど、高い評価を受けている。また、顧客が購入しやすいようにデザインには工夫を凝らし、サインデザイン大賞、ディスプレイ産業優秀賞、グッドデザイン賞日本商工会議所会頭賞平成14年（2002年）など5つの賞を受賞した。

品質については、国内外での調達網を幅広く活用するため、自社での品質管理体制を構築。仕入先監査による製造環境改善アドバイスや品質向上研究会を通じ、仕入先と共同した品質管理を実施してきた。

また、業界活動において同氏は地元愛知の同業者で構成する愛知鋲螺商協同組合に所属し、各種の活動に対して深い理解と積極的な協力及び参画をされ、平成5年（1993年）の理事就任から重責を歴任して平成19年（2007年）に理事長就任。平成25年（2013年）には東京・神奈川・大阪の各地域の商社団体が形成する日本ねじ商業協同組合連合会の会長を、さらにはメーカー団体の一般社団法人日本ねじ工業協会と組織するねじ商工連盟の会長を歴任してきた。「産業の塩」と呼ばれるねじの業界の地位向上を目指し、品質向上や知識向上の実現に大きな役割を果たした。

現在、愛鋲協の相談役を担っている。このほか、公益財団法人名古屋産業振興公社監事（現職）、一般社団法人日本道経会愛知支部代表幹事（現職）、愛知産業振興機構評議員（現職）、名古屋東ロータリークラブ会長を務めるなど、多岐にわたっての活躍がみられている。

令和元年春の叙勲伝達式にて鈴木建吾氏